

MJ進路通信：「進路指導室から、未来へ」



～ようこそ、アップデートされた4年目の案内所へ～

前橋女子高校進路指導部

令和8年度 第11号

令和8年5月28日（木）発行

■中間考査の振り返りをしよう

中間考査終了、お疲れさまでした。手応えはどうだったでしょうか。明日から答案が返却されてくると思いますが、大事なものは、今回の定期テストに向けての準備、計画、取り組み、結果を振り返って「反省点」「課題」をあぶり出し、次回に生かすことです。例えば、

①「範囲が終わらなかった！」という人

これは定期考査に向けての計画の立て方が不十分だった可能性があります。2週間前には考査範囲、1週間前には考査の時間割が発表されますが、そこから逆算して「何日前までにどこまで終わらせるか」の見通しを立てて勉強していたでしょうか。行き当たりばったりの学習では直前になって大慌てするのが目に見えています。今回は「早めの準備」と「見通しをもった計画」をテーマに課題の克服に努めましょう。

②「想定していない問題が出題された！」という人

このような人は考査範囲のポイントをしっかり掴んでいないことが原因かと思われます。定期考査というのは日々の授業の理解度を測るもの。授業中に先生が「これは大事!!」と強調したポイントをしっかり押さえていたでしょうか。次回のテストまで、授業の説明を一言も聞き洩らさないつもりで「まず授業に全力集中」です。

そして、皆さんにとっていちばん大切なことは

「返却された答案を徹底的に見直すこと!!!」

です（「徹底的に」とは「もう1回同じ問題で試験を受けたら満点取れる」までやる、ということです）。間違えた問題（まぐれで当たった問題も含め）を全て洗い出し、間違えた原因を分析し、教科ごとに作った間違い直しノート（通称『懺悔ノート』）に反省点を含め記録し、すらすら解けるようになるまで何度も繰り返すのです。テストが終わるたびに丁寧に復習する習慣をつけましょう。間違えた答案が皆さんにとっての最高の教材です。

■教育実習生を紹介します～「大学」を身近に感じる絶好のチャンスです～

今週から教育実習が行われています。皆前女の先輩です。現役の大学生でもありますので、皆さんが目指そうとしている道のちょっと前を進んでいる先輩として、大学のことを知るチャンスだと思います。授業時の関わりだけでは勿体ないので、放課後や休み時間などに訪ねて大学の様子を聞いてみてはいかがでしょうか。今回は、実習生の皆さんから簡単に自己紹介のコメントをいただきました。以下の項目について書いていただいています。今回は第1弾として4名の先生を紹介します。

- ①担当教科、所属クラス、大学・学部
- ②現在の進学先を選んだきっかけ／大学での研究内容
- ③後輩に向けてのメッセージ



F・S 実習生

①英語、1年6組、大阪大学外国語学部ヒンディー語専攻

②元々理系だったのですが、外国語に興味を持ったことをきっかけに、多くの言語を習得し、世界中の人々と交流したいと考え、高校3年生の夏に文転を決意しました。外国語を学べる大学に行きたいと考え、東京外国語大学と大阪大学の外国語学部で迷いましたが、東京外国語大学は受験科目にスピーキングがあり、十分な対策期間を確保できないと判断したため、大阪大学に行こうと決意しました。現在大学では、インドの公用語であるヒンディー語を始め、インドの宗教・文化・政治を中心に学んでいます。

③受験は自分との戦いだと思います。自分を信じて継続的に勉強し不得意を減らしていくことができれば、結果は必ずついてきます。勉強と息抜きのバランスを自分で考えることが本当に大切です。また、私は文転をしたことでかなりイレギュラーな受験勉強期間を過ごしていました。でも、前女の先生方の手厚いサポートがあったからこそ乗り越えることができました。自分のやりたいことに正直になることが大切だと思います。それを全力で応援して下さる先生が前女には揃っています。もし将来のことで不安や悩みを抱えていたら、一度気軽に先生に相談してみることをおすすめします!高校生活は二度と戻ってこないなので、一日一日を大切に、充実した MJ ライフを送ってください!

S・R 実習生

①生物、1年7組、東京農工大学農学部地域生態システム学科

②共通テストまでは東京大学を志望していましたが、紆余曲折あり後期試験で東京農工大学に入学しました。自分の興味のある森林科学や農学が学べることに加え、理系科目だけでなく歴史学や哲学など幅広い教養科目が学べることや、入学後の選択肢が比較的広いことから、入学先として選択しました。入学後は森林科学の面白さに気づき、現在は森林生態学研究室に所属しています。二酸化炭素の吸収量が多く、地球温暖化の抑制につながるとして注目されているユーカリを日本の森林に導入するための研究を行っています。とても楽しいです。

③自分には合わないかもしれない、自分には無理かもしれないということでも、飛び込んでみると案外上手くいったりします。たとえ上手くいかなかったとしても、挑戦した経験は必ずどこかで力になってくれます。みなさんも高校生ならではの若さと元気を武器に、自分の可能性を自分で狭めず、受験にせよ勉強にせよ部活にせよ、沢山のことに挑戦してほしいです!!

I・H 実習生

①化学、3年5組、立教大学理学部化学科

②1、2年生から実験を行うことができ、さらに教員と生徒の距離が近く、3年次からは研究活動に取り組める環境に魅力を感じ、進学先を決めました。現在は、細胞内の環境を人工的に再現し、その中で酵素反応を制御する研究を行っています。

③今思い返してみると高校生活はあっという間に過ぎ去っていきました。日々勉強に部活に忙しいと思いますが、今を大切に頑張ってください!

N・N 実習生

①化学、2年5組、早稲田大学・先進理工学部・応用化学科

②小学生の頃から理科の、特に化学分野の実験を行うことが好きだったため、化学科を選びました。その中でも、早稲田大学先進理工学部応用化学科では“役立つ”化学をコンセプトとしており、単に知識を得るだけで化学を終わらせず、世のためになる化学を創り出そうとする姿に魅力を感じました。現在は“CNTの高収率・長時間連続気相合成法の開発”という研究テーマで研究をしています。

③勉強に部活SS探究に…。みなさん、本当に毎日忙しく色々なタスクをこなしていると思います。この忙しく過ごす毎日すごくいい思い出になりますし、高校を卒業してしまえば、この時間はもう取り戻せません。辛いと思う時もちろんあるでしょう。やめたいと思う時もあるでしょう。その想いも含めて、かけがえのないものです。是非この素晴らしい時間を大切に、毎日を過ごしてください!応援しています!!